



2021年6月17日  
沖縄電力株式会社

## JICA課題別研修「配電網整備(A)」コースの実施について

当社は、5月10日（月）から6月11日（金）までの約1ヶ月間にわたり、独立行政法人国際協力機構（JICA）が主催するJICA課題別研修「配電網整備(A)」コースを実施いたしました。この研修は、一般社団法人海外電力調査会からの委託によるもので、エジプト、コートジボワール、フィジー、ブルキナファソなど10ヶ国から12名の研修員が参加しました。

同研修は、開発途上国における配電ロスの低減、電力品質の向上ならびに地方電化の推進に向け、日本の配電技術および配電設備について講義や実習を通して紹介し、各国で指導的役割を担う技術者のレベルアップを図ることを目的とし、1973年から実施されております。

当社では、2003年度から同研修を受け入れており、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった昨年度の研修を挟んで、今回で18回目となります。例年は、当社の事業所や関連施設で研修を行ってありますが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインで実施しました。

今後もこうした研修を通して、開発途上国の電気事業の基盤整備に貢献するとともに、関係諸団体と連携しながら国際協力活動を推進し、諸外国との人的交流を図ってまいります。



別紙：研修の主要スケジュールおよび過去の当社受入実績

以上

## 研修の主要スケジュールおよび過去の当社受入実績

1. 研修期間 : 2021年5月10日(月)～6月11日(金)

2. 研修員の出身国 : 10ヶ国 12名

エジプト、ガーナ、コートジボワール、シエラレオネ、フィジー、  
パプアニューギニア、パラオ、ブルキナファソ、パレスチナ、ミクロネシア

3. 主要な研修スケジュール

- 5月11日(火) インセプションレポート※<sup>1</sup>発表会  
 14日(金) 送電設備に関するQ&Aセッション  
 18日(火) 変電設備に関するQ&Aセッション  
 24日(月) 架空配電設備に関するQ&Aセッション  
 31日(月) 地中配電設備、再生可能エネルギーに関するQ&Aセッション  
 6月9日(水) インテリムレポート※<sup>2</sup>評価会

※<sup>1</sup> 研修前に、研修員それぞれの国における課題や研修の目的等を発表し、当社と研修員の認識を合わせる。

※<sup>2</sup> 研修後に、本研修を通して得られた知見や技術を自国でどう活用していくかについてのレポートを評価する。

4. 過去の受入実績

受入実績：計49ヶ国より延べ175名

| 年度                           | 人数   | 受入国  |
|------------------------------|------|--|
| 2003年度<br>～<br>2018年度        | 153名 | アフガニスタン(2)、アルバニア(1)、イラク(4)、インド(3)、<br>インドネシア(1)、ウガンダ(1)、ウルグアイ(1)、エチオピア(1)、<br>ガーナ(5)、カーボヴェルデ(3)、カンボジア(4)、キリバス(1)、<br>キルギス(1)、サモア(2)、ザンビア(10)、シエラレオネ(11)、<br>ジブチ(3)、ジンバブエ(2)、ジャマイカ(5)、スリランカ(4)、<br>タイ(1)、タンザニア(7)、トンガ(1)、ナイジェリア(4)、<br>ナウル(2)、ネパール(3)、パプアニューギニア(4)、パラオ(3)、<br>パレスチナ(1)、バングラディッシュ(9)、フィリピン(7)、<br>ブータン(6)、マーシャル(3)、マラウイ(6)、ミクロネシア(1)、<br>南スーダン(3)、ミャンマー(11)、モザンビーク(1)、モンゴル(1)、<br>ヨルダン(1)、ラオス(4)、リベリア(4)、ルワンダ(5) |
| 2019年度                       | 10名  | クック諸島(1)、サモア(1)、マーシャル(1)、バヌアツ(1)、<br>パプアニューギニア(2)、パラオ(1)、フィリピン(1)、<br>ミクロネシア(1)、リベリア(1)  |
| 2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止 |      |  |
| 2021年度<br>※オンライン<br>開催       | 12名  | エジプト(1)、ガーナ(1)、コートジボワール(1)、<br>シエラレオネ(1)、パプアニューギニア(1)、パラオ(1)、<br>パレスチナ(1)、フィジー(2)、ブルキナファソ(2)、<br>ミクロネシア(1)   |